

3班 三国志

「三国志」とは中国の三国時代に、魏・呉・蜀の三つの国が天下統一を目指し争った物語です。歴史書でははっきりしない部分も多くあり、いくつかの解釈があるのが面白く、沢山の漫画やゲームになる程の人気を誇ります。私たちはそんな三国志をテーマに、男女別の衣装を製作しました。



三国時代の男性をイメージし、漢服を真似た重さのあるジャケットに、切りっぱなしスカート、そこに蔽膝(へいしつ)と呼ばれる当時のひざ掛けでアクセントを出し、帽子やネックレス、ベルトといった服飾品で、三国志の雰囲気と現代のファッションとを掛け合わせました。

三国時代の女性をイメージし、水色が印象的な優雅で儂いイメージに仕上げました。柔らかい生地と優しい印象の淡い水色で、女性らしさを出しています。儂く優しいイメージだけではなく、戦国の時代を強く生き抜いた女性の強さを象徴する為、主張の強い金色を使い、フリルで豪華さを出しました。

3-1



◆担当アイテム：トップス・ベルト

◆使用素材：綿金巾・ポリエステルポリウレタン

三国時代のファッションでは男女ともにゆったりとした余裕のある、動きやすさを重視した服装が好まれていた。そこで男性用ジャケットの下に着るインナーはモデルのサイズに合わせたものにした。また、ベルトには三国志の十二章の中から龍や鳥の柄を取り入れた。

私が担当した男性用のベルトは、ボトムスの上に覆いかぶさっているのでボトムスのグラデーションの邪魔をしないような黒を設定した。

3-2



◆担当アイテム：スカート

◆使用素材：ナイロン6 ジャージ、綿ネル

漢服は歩く時、布が揺れる、ボタンがなく帯で締めるのが特徴だが、現代風のデザインにするため、スカートはフレアスカートの形にして、足首までの長さにした。ベルト部分は帯の代わりにゴムを入れて、ウエストで止まるようにした。

透明感を表現するためにベースは女性らしい水色にした。他にも、少し可愛らしさを出したいと思ったので赤と白とオレンジを混ぜた。三国志の強い印象を表現するため、裾のフリルにはゴールドを塗りシルバーのラメを散りばめた。

3-3



◆担当アイテム：ジャケット

◆使用素材：ジアセテート、ウールフライス、
シルクオーガンジー

三国志に出てくる女性の高貴さを表現するため、生地にもこだわりデザインをした。シルクオーガンジーを使い、後ろを開けたことでトップスやスカートも引き立たせられるデザインにした。襟から三国志の雰囲気を出しつつ、フリルをつけることで現代風になるようにした。

また下に着るトップスやスカートの存在感を消さないように、身頃は薄めの水色にした。

3-4



◆担当アイテム：ティアラ、チョーカー

◆使用素材：ビーズ・綿

ティアラとチョーカーを作ることになったからティアラは動画など見てどのような形やビーズの色が良いか考えて材料を揃えた。あまりキラキラしたビーズにしてしまうと三国志と少しかけ離れてしまうから、パールのビーズを使ってシンプルなティアラにした。

チョーカーは、分厚すぎる生地だと少しイメージと離れるやめ、綿にした。また、マーブルに染めやすそうだったからだ。マーブルに染めそれだけではなく、水色のビーズをつけて可愛くできた。

3-5



◆担当アイテム：帽子、ベルト、

ネックレス（メンズ）

◆使用素材：綿ツイル、ビーズ、ウッドビーズ

帽子はツバを大きくして、少し顔が隠れるサイズ感にしした。ちらっと顔が見える方が、かっこよく見えると思った。ネックレスのパーツ配置は、スカートの色合いに合わせるために、ブルーを取り入れ、ジャケットのブラウンと、ビーズのブラウンも合わせた。

帽子のタイダイ柄の色は、淡さを出すため、グリーン配色にした。ネックレスもブルーとブラウンにして、小物で全体のバランスを取れるように工夫した。

3-6



◆担当アイテム：スカート

◆使用素材：綿ブロード

三国志のメンズ衣装でスカートを制作した。スカートの形はフレアスカートだ。メンズ風らしくカッコよくするために青色にし、スカートは短すぎず長すぎずの長さにし、裾のデザインは破れたような切りっぱなしのデザインにした。

男性らしさのある青色にしたかったので、ただの青ではなくてグラデーションカラーにすることで足元に力強さを出し、協調させた。全体の色は淡い青にし、一番下は、濃すぎず薄すぎない青で染めた。

3-7



◆担当アイテム：トップス

◆使用素材：ダブルピケ、綿フライス

自分は女性側の担当だったので、ただ派手で豪華なものじゃなく繊細できれいなものを作りたく、全体的にはシンプルなデザインにした。そこで胸元と袖口にフリルをつけ、優雅な豪華さを表現した。

女性らしさを出すために淡い色にしたくて、土台となる生地は薄い水色にした。水色をできる限り薄くし、フリルを金にすることで豪華さを強調した。また、金色に銀粉を振り光が当たると輝くよう調整した。

3-8



◆担当アイテム：ジャケット

◆使用素材：ポリエステルダブルピケ、

綿フライス、ウールモスリン

三国志の写真を調べた際に、男性が着ていた服が着物のような感じだったので、今回の男性の衣装は着物風になった。

ジャケットの色は、身頃や袖は濃い茶色で、袖についているフリンジは薄い茶色、襟は金色にすることが決定した。濃い茶色にしたのは、三国志のカッコよさが出る色だからだ。そしてフリンジは、濃い茶色に合わせる形となり、襟は全体を引き締めるために金色を使用することに決まった。